

▽2021年 9月28日～8月6日 の [Web報道紹介をワード整理版](#)

☆新たな課題も…

医療的ケア児 避難所ホテルの見学会（福島県）

テレビユー福島 [9/28](#)

＞ 医療的ケア児という子どもたちをご存じでしょうか。人工呼吸器やたんの吸引など、日常的に医療的なケアが必要な子どもたちです。災害の際、こうした子どもたちの避難が課題となっていますが、28日、福島県福島市では、避難所として使うホテルの見学会が開かれました。

…などと伝えています。

☆重症の障がい児と家族にワクチン接種

那覇のきつずクリニックが開始 訪問接種も相談可

沖縄タイムス+プラス [2021年9月27日](#)

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/837203>

＞ 医療的ケアが必要な子どもと家族の沖縄小児在宅地域連携ハブ拠点 [Kukuru+（ククルプラス](#)、那覇市真地）にある「きつずクリニック」（當間隆也院長）は、15日から重症心身障がい児（者）とその家族らを対象にした新型コロナウイルスワクチン接種を始めた。

…などと伝えています。

* [Kukuru+](#)

<https://kukuruokinawa.com/>

☆医療的ケア児の安らぎの場

療育施設「ガブリエル」代表理事、松尾由理江さん（46）

産経ニュース 【TOKYOまち・ひと物語】 [2021/9/28](#)

<https://www.sankei.com/article/20210928-2OWAOF5NCVMUPHPLZPWLGPQF44/>

＞ 病気や障害により、呼吸器管理やたんの吸引など医療的ケアが必要な子供は全国に約2万人いるとされる。医療の進歩で多くの命を救えるようになる一方、病院を退院後、家庭で孤立しがちな子と親を地域でどう支えていくかは大きな課題だ。目黒区中町にある療育施設「ガブリエル」は、医療的ケア児らの居場所として今春オープン。代表理事の松尾由理江さん（46）は「利用するすべての人に笑顔を届けたい」と思いを語る。

…などと伝えています。

[療育施設「ガブリエル」](#)

<https://yuriematsuo0304.wixsite.com/mysite>

☆厚労省の「障害児通所支援」の検討会が報告書骨子案

日本教育新聞電子版 [2021年9月24日](#)

<https://www.kyoiku-press.com/post-235116/>

＞ 厚労省の障害児通所支援の在り方に関する検討会は15日、第6回会合を開き、児童発達支援センターの位置付け、児童発達支援・放課後等デイサービスの役割・機能の在り方、インクルージョンの推進などの項目を盛り込んだ報告書骨子案を示した。骨子案では、報告書は8章立てとし、放課後等デイサービスの役割・機能については「発達支援（本人支援）の在り方」「放課後等デイサービスの対象者の範囲」など、インクルージョンの推進では「保育所等訪問支援の在り方」などの項目を設けるとしている。今回の会合を含め、これまで出た意見を踏まえた詳しい内容を本文として書き込み、次回会合で報告書の素案を示す予定。

…などと伝えています。

△厚労省：[障害児通所支援の在り方に関する検討会](#)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19218.html

開催予定やこれまでの資料や議事録等掲載あり

☆寝たきり芸人、分身ロボで“出勤” 東京のカフェへ

熊本から遠隔操作で社会とつながり

熊本日日新聞社 [2021年09月27日](#)

<https://kumanichi.com/articles/410761>

＞ 寝たきり芸人「あそどっぐ」として活動する阿曾太一さん（42）が、熊本県合志市の自宅で遠隔操作するのは

分身ロボット。わずかに動く下唇でカーソル、左手の親指でクリックを操作し、客に飲み物を提供する。パソコンのモニター越しに映るその職場は、熊本から遠く離れた東京のカフェだ。…略… 阿曾さんが働くは、阿曾さんが働く「分身ロボットカフェDAWN ver. β (ドーン バージョンベータ)」は、オリヒメを開発した「オリイ研究所」(東京)が、常設実験店として6月にオープン。重度障害で寝たきりの人や、子育てや介護で外出が難しい人など、約60人がオリヒメの操作者として働く。

…などと伝えています。

* [「分身ロボットカフェDAWN ver. β \(ドーン バージョンベータ\)」](https://dawn2021.orylab.com/)
<https://dawn2021.orylab.com/>

☆障がいのある人もない人も分け隔てなく暮らす

「インクルーシブ社会」の実現に向けて 遊具の可能性は…

富山テレビ [2021年9月27日](#)

<https://www.fnn.jp/articles/-/245031>

> 富山市にある[県空港スポーツ緑地](#)。今月設置された「インクルーシブ遊具」と呼ばれる遊具が、人気を集めています。インクルーシブとは、「年齢や障がいの有無に関わらず、みんな一緒に」という意味。この遊具は、自分に合った遊び方でコミュニケーションが生まれるように配慮した設計になっていて、市民の提案を受け県が設置しました。

…などと伝えています。

* [県空港スポーツ緑地](#)
<https://smilepark.net/>

☆障害者歯科 安心の空間

和歌山・小谷さん 患者に応じ治療工夫

読売新聞オンライン 和歌山 [2021/09/27](#)

<https://www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/news/20210927-OYTNT50025/>

> 心身に障害があるなどし、一般の歯科医院では治療を受けることが難しい患者を診る「日本障害者歯科学会認定医」。和歌山市内で歯科医院を営む小谷隆久さん(40)もその一人だ。2年前に開院して以来、自閉スペクトラム症やダウン症、脳性まひなどの障害がある人も積極的に診療してきた。「誰もが安心して通えるような場所を作っていきたい」との思いで日々、患者と向き合っている。

…などと伝えています。

☆障害者ほぼ終日閉じ込め 神奈川県立の入所施設

共同通信 [2021/9/25](#)

<https://nordot.app/814416950959013888?c=39546741839462401>

> 神奈川県立の知的障害者施設「中井やまゆり園」(同県中井町、定員122人)で、一部の入所者を1日20時間以上、外側から施錠した個室に閉じ込める対応が常態化していることが25日、共同通信の入手した園の内部資料で分かった。

…などと伝えています。

* 職員の暴力で入所者骨折、隠蔽か 神奈川県立の障害者施設
共同通信 [2021/9/26](#)
<https://nordot.app/814742497011482624?c=39546741839462401>

☆働く 令和に「豆腐の行商」障害者と地域のつながりに(熊本市)

RKK-NEWS&SPORTS youtube [2021/09/21](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=PAIiJKP0Iek>

☆我が子の介護、26年間続けた母の想い

「自分と同じ、孤独な家族を支援したい」

【親なき後を生きる】

(柳原三佳) 個人 Yahoo!ニュース [9/20](#)

<https://news.yahoo.co.jp/byline/yanagiharamika/20210920-00259150>

> 「先日公開された『[交通事故で息子が寝たきりに——介護を続ける親の苦悩と、「親なき後」への不安 \(Yahoo! ニュース オリジナル 特集\)](#)』を読ませていただきました。それぞれのお母さまやお父さま方が息子さんに深い愛情を注ぎ、懸命に頑張っておられる姿に涙が出ました。また、[「施設がないなら自分でつくる！」事故で寝たきりの息子を介護する、母の挑戦【親なき後を生きる】](#)で紹介されていたお母さまの取組みも素晴らしい、そのご苦労がひしひしと伝わってきました」そんなメッセージを寄せてくださったのは、「ALDの未来を考える会」代表で、東京都在住の本間りえさん(58)です。

…などと伝えています。

* 『[交通事故で息子が寝たきりに——介護を続ける親の苦悩と、「親なき後」への不安 \(Yahoo! ニュース オリジナル 特集\)](#)』

<https://news.yahoo.co.jp/articles/480d282af9cfdaafcaf5279791ce7cda47bc6785?page=1>

* [「施設がないなら自分でつくる！」事故で寝たきりの息子を介護する、母の挑戦【親なき後を生きる】](#)
<https://news.yahoo.co.jp/byline/yanagiharamika/20210915-00258319>

☆障害者施設に反対根強く 7カ国調査、
日本少ない接点一識者「偏見超え関係構築を」
時事ドットコム [2021年09月19日](#)

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021091800393&g=soc>

> 障害者と接点の少ない日本では、障害者施設の建設に反対する住民が多い。7カ国・地域の市民を対象にした意識調査で、こんな傾向が浮かび上がった。専門家は「障害者への偏見、不安があっても地域でどう関係性を構築するかが重要だ」と指摘する。

…などと伝えています。

☆なぜ知的障害がある青年が「精神錯乱」として
取り押さえられ、命を失わなければならなかったのか？
支援団体が警職法の改正を提言へ

buzzfeed 岩永直子 [2021年9月19日](#)

<https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/kenta-yasunaga-keishokuhou>

> 14年前、知的障害がある青年が仕事からの帰り道、警察官に組み伏せられ、命を失う事件がありました。再発防止のため、遺族や支援団体は警察の職務を定める「警察官職務執行法」の改正を求め、提言をまとめました。知的障害のある青年が仕事からの帰り道、不審者と間違われ、警察官5人に地面に組み伏せられ死亡する事件があった。警察官の行為は職務として正当性が認められ無罪に。そんな「安永健太さん事件」から14年。事件を風化させまいと作られた「安永健太さん事件に学び 共生社会を実現する会(健太さんの会)」が、警察を無罪とした根拠となる法律「警察官職務執行法」を改正しようと意見書をまとめ、事件が起きた9月25日にシンポジウムを開く。

…などと伝えています。

☆「大変でかわいそう」その印象が助けを求めにくくする…
ヤングケアラーに今必要な支援

FNNプライムニュース [2021年9月15日](#)

<https://www.fnn.jp/articles/-/238024>

> 「ヤングケアラー」という言葉を耳にしたことがあるだろうか？近年、国による実態調査が行われるなどして、知られるようになってきた。法的な定義はないが、[一般社団法人日本ケアラー連盟](#)では、「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。ケアが必要な人は、主に、障がいや病気のある親や高齢の祖父母ですが、きょうだいや他の親族の場合もあります」と、サイトで紹介している。

…などと伝えています。

☆道が初の実態調査「ヤングケアラー」
中学生で26人に1人に

NHKニュース 北海道 [09月16日](#)

> 家族の世話や介護に追われる「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもたち。道が初めて行った実態調査で、その割合は、中学生で26人に1人にのぼることが分かりました。

…などと伝えています。

<https://mainichi.jp/articles/20210910/ddf/001/040/001000c>

＞ 自分が寝たきりになったり亡くなったりしたら、障害のある我が子は誰を頼ればいいのか——。障害がある子を抱える親の深い悩みを少しでも解消したいと、大阪府八尾市在住の終活カウンセラー、藤井奈緒さん（48）は「障害者家族の終活」をテーマに、相談対応やセミナーでの講演を展開している。藤井さんも障害のある娘がいる当事者。終活の要点として「家族だけで抱え込まず、他人の世話になれるようにしておくことや多くの頼れる人を作ることが大切」と語る。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210910mainiti.jpg>

☆医療的ケア児情報、支援者で共有

県医療療育センターが新システム

中日新聞 [2021年9月7日](#)

<https://www.chunichi.co.jp/article/325503>

＞ 県医療療育総合センター（春日井市）は、医療的ケアが必要な障害児の情報を支援者が共有するシステム「[このはネット](#)」の運用を始めた。たんの吸引や、チューブを通じて胃や腸に直接栄養を送る経管栄養といった一人ずつの自宅でのケアの詳細、リハビリの進み具合などが一目で分かる仕組み。現在はセンターの通院者とその支援者が使っているが、障害児や家族の負担軽減につながるとして県全域に利用を広げたい考えだ。

…などと伝えています。

* [愛知県医療療育総合センター](#)

<https://www.pref.aichi.jp/addc/>

☆「できないことを数えるより、できることを増やしたい」

医療ケア児の父、保育士を志す学生に語る

沖縄タイムス+プラス [2021年9月7日](#)

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/826756>

＞ 生まれつき脳や神経に障がいがあり、たんの吸引や人工呼吸器を日常的に必要とする「医療ケア児」の仲村夢杏（ゆあん）ちゃん（4）＝沖縄県宜野湾市＝の父、翔さん（38）は8月24日、保育士を目指す沖縄女子短期大学児童教育学科の2年生約120人にオンラインで講演した。翔さんは、医療技術の進歩に伴って助かる命が増え、医療ケア児も増えていると説明。「同世代の子たちとの関わりをつくってあげたい」と保育園に通わせた経緯に触れ、「医療ケア児について知っていれば万一の時も落ち着いて対応できる。まずは知って」と呼び掛けた。

…などと伝えています。

☆障害児手当、支給に5倍の地域差 対象者数、人口当たり申請数も

共同通信 [2021/9/6](#)

<https://nordot.app/807581944088854528>

☆ヤングケアラー支援に予算要求

厚労、文科両省が14日に会合

毎日新聞 [2021/9/8](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210908/k00/00m/040/131000c>

＞ 家族の介護や世話に追われる子ども「ヤングケアラー」の支援を巡り、厚生労働省と文部科学省は[共同プロジェクトチーム（PT）](#)の会合を14日に開くことを決めた。支援策をまとめた5月の会合以来、4カ月ぶりの開催。両省は来年度の予算概算要求に支援の事業費を盛り込んだ。PT会合では、既に進めている支援の進捗（しんちよく）状況などを確認し、施策の充実を図る。

…などと伝えています。

厚生労働省と文部科学省は[共同プロジェクトチーム（PT）](#)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/young-carer-pt.html>

☆新型コロナ自宅療養中に停電したら医療機器はどうなる？

防災の日に考えておくべき医療的ケアと停電問題

（あんどうりす）個人 Yahoo!ニュース [9/1](#)

<https://news.yahoo.co.jp/byline/andorisu/20210901-00256051>

☆悩むヤングケアラーを支援

高崎市が来年度から実施、無料でヘルパー派遣

SankeiBiz (サンケイビズ) [2021.9.6](#)

<https://www.sankeibiz.jp/econome/news/210906/eci2109060715001-n1.htm>

◇障害者雇用率達成は5割未満 パラが問う企業の変革

産経ニュース [2021/9/5](#)

<https://www.sankei.com/article/20210905-GYVOEDAXGNLMROYD7JL5SCE26E/photo/47ZKTDSZCZO4THP26AS5SDCHOM/>

☆バリアフリー、国を先導 大阪・兵庫の条例制定30年へ

日本経済新聞 関西 [2021年9月2日](#)

https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCD201900Q1A820C2000000/?fbclid=IwAR1YQ65rwr7B4ctX8H5_8mt86ZEm_IDpjhIjBamsisObatAqNK80G0sEZxk

＞ 障害者団体の活発な運動を背景に、兵庫県と大阪府が全国の都道府県に先駆けて「福祉のまちづくり条例」を制定して来年で30年。駅のエレベーター設置や建物、道路のバリアフリー化を促す条例は全国に波及し、国のバリアフリー法制定にもつながった。しかし誰もが利用しやすいユニバーサルデザインや多様な立場を理解し合う「心のバリアフリー」といった課題はまだ多く、2025年国際博覧会（大阪・関西万博）を契機に一層の推進が求められる。

…などと伝えています。

☆障害児の高等部卒業を考える

京障連シンポ SOS発しやすく

しんぶん赤旗 [2021年9月2日](#)

＞ 障害のある子どもが高等部を卒業した後の子どもと親の暮らしを考え合おうと1日、オンラインシンポジウムが開かれ、全国から100人超が参加しました。主催は、京都障害者の生活と権利を守る連絡会（京障連）。…略… ある母親は、医療的ケアが必要な子どもが18歳で入所施設で暮らしはじめたものの症状の進行に伴い医療行為が増えると、施設側から契約を断られました。「サービス利用時の契約の仕組みで（行政は）選択肢が増えたというけれど、サービス提供側が契約しないという選択もできる」と障害福祉制度の契約の仕組みを批判しました。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210902akahata.jpg>

☆全国的にも先進的、重度障害者の通勤や勤務を支援

9月から京都市がヘルパー派遣事業

京都新聞 [2021年9月1日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/629081>

＞ 京都市は、重度障害者の就労を後押しするため、勤務中や通勤時にヘルパーを派遣する事業を9月1日から新たに始める。勤務中や通勤時は従来、公的福祉サービスの「重度訪問介護」が使えないことから就労を断念せざるを得ない人も多かった。同様の事業を行っている自治体は全国でもまだ少なく、障害者からは「前進」との声が上がる。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210901kyotonews.jpg>

△京都市重度障害者等就労支援特別事業の実施について

京都市保健福祉局障害保健福祉推進室 [2021年8月30日](#)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000288804.html>

☆横浜市、謝罪の回答書 重度障害者への対応

24時間の介護求めるも認められず入院の男性

東京新聞 [2021年9月1日](#)

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/128126>

＞ 重い障害のある人の生活を支える障害福祉サービス「重度訪問介護」を受ける横浜市の男性が、二十四時間の介護を求めるため区役所を訪れたが対応を先延ばしにされた問題で、市は三十一日、対応の誤りを認めて謝罪する内容の回答書を、男性を支援する全国公的介護保障要求者組合に手渡した。

…などと伝えています。

☆交通事故で息子が寝たきりに――

介護を続ける親の苦悩と、「親なき後」への不安

(Yahoo!ニュース オリジナル 特集) [8/31](#)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/480d282af9cfdaafcaf5279791ce7cda47bc6785>

> 全国で発生する交通事故。頭や首などを強打し、毎年 1700 人程度が重度後遺障害者と認定される。子どもが寝たきりになった場合、親が介護するケースが大半だが、10 年、20 年と続けていくうちに大きな不安に襲われる。「自分の死後、子どもはどうなるのだろうか……」。今回、そうした悩みを抱える母親ら取材。これまでの苦難や今後の不安を聞くとともに、必要な行政支援についても探った。(取材・文：ノンフィクション作家・柳原三佳/Yahoo! ニュース オリジナル 特集編集部)

- ・寝たきりの息子を支える母
 - ・自転車で帰宅途中の事故
 - ・120 キロ離れた岡山へ転院
 - ・今後の不安を抱える
 - ・大阪にも不安を抱える人が
 - ・骨折のアクシデント
 - ・「親なき後問題」への対策は？
 - ・なかなか増えない「受け皿」
 - ・シェアハウス型への支援も必要
- …などと伝えています。

☆重度訪問介護サービスを展開する

「株式会社土屋」創立 1 周年

これまでの経緯とこれからの活動について

株式会社土屋のプレスリリース [2021.08.30](#)

<https://www.atpress.ne.jp/news/272969>

☆障害児手当、不支給が大幅増

10 年で 3 倍近く、6 割却下も

共同通信 [2021/8/29](#)

<https://nordot.app/804688771879845888>

> 障害児のいる家庭に支給される国の「特別児童扶養手当」で、自治体に申請しても「障害が基準より軽い」として却下される件数が 2019 年度までの 10 年間で 3 倍近く増えていたことが 29 日、国の統計データから分かった。
…などと伝えています。

☆障害者の投票補助、二審も敗訴

公選法の規定は合憲、大阪高裁

共同通信 [2021/8/30](#)

<https://nordot.app/804899092128382976>

> 障害者らが選挙で投票する際の補助者を「投票所の事務に従事する者」に限定する公選法の規定は、投票の秘密が守られず憲法に違反するとして、生まれつき脳性まひの障害がある男性が、ヘルパーらによる投票と損害賠償を国に求めた訴訟の控訴審判決で、大阪高裁は 30 日、男性側の控訴を退けた。規定を合憲と判断した。
…などと伝えています。

☆ハサミを握れなくてもみんなを笑顔に…

39 歳で難病 ALS と診断 理容師・父として【岡山・倉敷市】

OHK 岡山放送 [2021.08.30](#)

<http://www.ohk.co.jp/data/11744/pages/>

> 全身の筋肉が衰えていく難病、ALS と闘う男性が倉敷市にいます。周りの人を笑顔にしたいと前向きに振る舞う彼を支えているのもまた家族や周囲の人たちでした。
…などと伝えています。

☆医療的ケア児の日常、表情いきいきと デイ運営 NPO が写真集

京都新聞 滋賀 [2021年8月29日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/625894>

> 人工呼吸器や経管栄養が必要な医療的ケア児向けデイサービスを運営する滋賀県彦根市のNPO法人「道」が、利用者を撮影した写真集「笑顔をありがとう」を出版した。同施設や家庭で過ごす子どもたちのいきいきとした表情を収めている。多機能型重症児等デイサービスふぁみりい（同市高宮町）が、在宅医療やみとりなどをテーマに活動する滋賀県出身の写真家國森康弘さんに依頼し、昨秋にふぁみりいや利用者の自宅で撮った。写真集は72ページ。子どもたちが朝のあいさつで職員に手を支えられながらハイタッチしたり、チャンバラごっこで遊んだりする風景や医療的ケアの日常、家庭で親や愛犬と触れ合う様子を切り取った。親や医療関係者からそれぞれの子どもたちへ、生まれて病気が分かった時の気持ちや共に過ごす喜びなどのメッセージを添えた。制作資金はクラウドファンディングで集めた。1300部作り、市の教育施設にも寄贈した。NPO法人の柴田恵子理事長（66）は「子どもたちにどんなに重い障害があっても、笑顔でいっぱいになれることを多くの人に知ってほしい」と話す。2420円。サンライズ出版0749（22）0627。

…などと伝えています。

☆＜共にその先へ やまゆり園再建＞

*（上）入所を選んだ大月さん 「慣れ親しんだ場所に」

東京新聞 神奈川 [2021年8月28日](#)

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/127372>

> 二〇一六年七月に入所者ら四十五人が殺傷された県立知的障害者施設「津久井やまゆり園」（相模原市緑区）で、事件後に再建された新園舎での生活が始まった。障害者の生活の場を巡っては、自立と社会参加を促すため施設から地域への流れがあり、県も「ついのすみかではなく、地域移行前提の施設」を目指すとうたう。入所を決めた家族、別の場所で暮らすことを決めた家族の姿を通じ、やまゆり園の現状と課題を探る。

…などと伝えています。

*（下）「焦らず成長を見守る」 退所を選んだ平野さん

東京新聞 神奈川 [2021年8月29日](#)

https://www.tokyo-np.co.jp/article/127526?rct=kanagawa_top

> 「かずくん久しぶり。元気だった」。七月上旬、横浜市の施設で暮らす平野和己（かずき）さん（31）は、一年ぶりに面会する父泰史さん（70）の姿に顔をほころばせた。最初は恥ずかしそうにしていたが、泰史さんが持参した雑誌と一緒に見ると「焼き肉食べたい」「プールに行きたい」と会話が弾んだ。

…などと伝えています。

☆ヤングケアラー当事者の声を形に

プロジェクト開始 政策提言目指す

毎日新聞 [2021/8/28](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210826/k00/00m/040/377000c>

> 家族の介護や世話を担う子ども「ヤングケアラー」の当事者が支援を考え、発信する「子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト」がスタートする。必要だと思ふ支援や、あったら良いと思ふ活動などのアイデアを形にすることを旨とする。「ケアラーが楽しめること、おもしろいことをしたい」「ちょっとしたことでも気軽に話せる場所がほしい」――。発起人たちは、こうしたアイデアを出し合っており、10代や20代で家族をケアしている人、かつてケアしていた人たちに参加を呼びかけている。

…などと伝えています。

* [ヤングケアラープロジェクト](#)

☆閉ざした悩みに耳傾ける、保健室で奮闘する岩「養護教諭」

SankeiBiz（サンケイビズ）[2021.8.28](#)

<https://www.sankeibiz.jp/econome/news/210828/eci2108280800001-n1.htm>

☆重度知的障害者の一人暮らし

佐々木元治さん 「自立生活 楽し！！」

京都新聞 [2021年8月25日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/622921>

＞ 重度の知的障害がありながら京都市左京区で1人暮らしをしている佐々木元治さん（38）の日常の様子を記した本「自立生活 楽し!!」を母親と、介助に携わるヘルパーが著した。国の推計によると1人で暮らす知的障害者は3%と少なく、「親元でも施設入所でもない選択肢があることを知ってほしい」と願う。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/0823kyoto.jpg>

* [自立生活楽し!!](#)

知的障害があっても地域で生きる 親・介助者・支援者の立場から

解放出版社 出版年月日：2021/05/20 定価：税込1,540円

<https://www.kaihou-s.com/book/b582566.html>

☆医療的ケア児の支援サイト開設

手当・給付金など役立つ情報を提供／名古屋市

公明新聞 名古屋市会 [2021年8月24日](#)

<https://www.komei.or.jp/km/komeito-aichikenhonbu/2021/08/24/%e5%8c%bb>

[%e6%8f%b4%e3%82%b5%e3%82%a4%e3%83%88%e9%96%8b%e8%a8%ad%ef%bc%8f%e6%89%8b%e5%bd%93%e3%83%bb%e7%b5%a6%e4%bb%98%e9%87%91%e3%81%aa/](https://www.komei.or.jp/km/komeito-aichikenhonbu/2021/08/24/%e5%8c%bb%e7%99%82%e7%9a%84%e3%82%b1%e3%82%a2%e5%85%90%e3%81%ae%e6%94%af%e6%8f%b4%e3%82%b5%e3%82%a4%e3%83%88%e9%96%8b%e8%a8%ad%ef%bc%8f%e6%89%8b%e5%bd%93%e3%83%bb%e7%b5%a6%e4%bb%98%e9%87%91%e3%81%aa/)

＞ 名古屋市は、医療的ケア児の助言したり、制度の情報を提供したりする医療的ケア児支援サイト「e・g・a・o」を4月に開設した。市によると、政令市では初。利用者から「使いやすい」と好評を得ている。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210824komei.jpg>

△[名古屋市医療的ケア児支援サイト e・ga・o \(え・が・お\)](#)

名古屋市子ども青少年局子育て支援部

子ども福祉課子ども発達支援係 2021年6月15日

<https://www.city.nagoya.jp/kodomoseishonen/page/0000142417.html>

☆「医療的ケア児」介助に必要な支援は？

中信の母親がネット調査

信濃毎日新聞 長野県 [2021/08/22](#)

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2021082200050>

＞ たんの吸引など医療的な介助が日常的に必要な「医療的ケア児」を持つ中信地方に住む母親3人が、介助者が必要とする支援などを探るアンケート調査をインターネットで31日まで行っている。医療的ケア児は介助者が常時介助するケースが多く、精神的な負担が重かったり、就労が難しかったりする。母親たちはアンケートで介助者の実情を把握し、一時的に預けることができる施設の整備などを自治体に求めたい考えだ。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210822news.jpg>

☆重度障害者の就労支援を拡充 福岡市、10月から新事業

西日本新聞 me [2021/8/24](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/789614/>

＞ 福岡市は、重い障害のある人の就労や雇用促進を図ることを目的として、仕事での重度障害者が、トイレや食事などをする際の介助費を助成する新たな就労支援事業を始める。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210824news.pdf>

△[重度障がい者等就労支援事業について](#)

福岡市保健福祉局 障がい者部障がい福祉課 2021年8月6日

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/shisetsushien/health/sevice/>

[zyuudosityougaisyatousyuurousiennzigiyou_riyousyamuke.html](https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/shisetsushien/health/sevice/zyuudosityougaisyatousyuurousiennzigiyou_riyousyamuke.html)

☆介助者が病室入れず重症化も

れいわ議員、パラ中止要請

朝日新聞デジタル [2021年8月23日](#)

https://digital.asahi.com/articles/ASP8R6QFBP8RUTFK020.html?iref=pc_ss_date_article

> 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、れいわ新選組は23日、菅義偉首相や小池百合子都知事らに東京パラリンピック（24日開幕）の中止を求める要請書を提出した。同党は所属する2人の参院議員がいずれも重度障害を抱えており、当事者の立場からパラリンピック中止を訴えた。

…などと伝えています。

* 東京パラリンピックの即時中止と

医療体制抜本的強化を求める緊急要請

参議院議員: [船後靖彦 Official Site](#) [2021年8月23日](#)

https://yasuhiko-funago.jp/page-210823/?fbclid=IwAR3TSof2UD8_KUCKk6jaPgJFJOOLN0PRwRIVEoXivw6M6y4bXu63FyhY6rg

☆しんぶん赤旗 きょうの潮流 [2021年8月19日](#)

https://www.jcp.or.jp/akahata/aik21/2021-08-19/2021081901_06_0.html

> 脳性まひで障害のある小森淳子さん（56）は1984年、ある国立大学をめざしていました。2次試験直前、大学事務局から電話が。「受験に来ないで。身体検査とか面倒だし、障害者を入学させたくないのです」…略… ▼旧優生保護法下で不妊手術を強いられた障害者らが個人の尊重を基本とする憲法に反すると国を訴えた裁判では、原告敗訴の連続です。被害から20年以上が経過しており賠償請求権が消滅しているからと▼旧法は96年、廃止に。しかし、障害者を劣ったものとする優生思想や国の優生政策で助長された障害者への差別偏見はいまだに根強く残ります▼昨年7月の東京地裁判決は国際障害者年や旧法廃止をあげ、そのころには日本からは障害者差別はなくなっていたから提訴できたはずだと。その時代に差別や偏見に抗い（あらが）ながら生きてきた小森さん。こうした現実には司法は目を向けるべきです。今年は国際障害者年から40年です。

…などと伝えています。

* 旧優生保護法・兵庫訴訟 原告ら控訴

「除斥期間=20年時の壁」どう見る？

弁護士・藤本尚道さん

ラジトピ ラジオ関西トピックス [2018/08/17](#)

<https://jocr.jp/raditopi/2021/08/17/383847/>

☆ドキュメント広島「オリヒメ」の向こう側

～ALS元教頭が目指すもの～

広島ホームテレビのプレスリリース [2021.08.17](#)

<https://www.atpress.ne.jp/news/271771>

> 8月29日（日） 深夜0:30放送

広島ホームテレビでは、ALS＝筋萎縮性側索硬化症（体の筋肉が徐々に動かなくなる難病）と闘う広島県立御調高校元教頭の長岡貴宣さんを3年半にわたり取材してきました。

長岡さんは生徒たちの支援などにより積極的に生きることを決意。病気が進行し声も出なくなりましたが、新たな夢に向かって発信を続けています。…略… 広島ホームテレビでは長岡先生を3年半にわたり取材してきました。2019年4月に放送した「ドキュメント広島 オリヒメが見つないだ希望～ALS教頭と生徒たちの物語～」の続編です。

…などと伝えています。

* ドキュメント広島 2019年4月放送 [youtube](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=46OoF9JWbEw>

☆海老原宏美さんが語る相模原障害者殺傷事件

NHKハートネットTV 記事 [2021年08月17日](#)

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/538/>

> 神奈川県相模原市にある知的障害者施設で「障害者は不幸を生むだけだ」と、利用者19人が殺され、利用者職員26人が傷つけられた事件から7月26日で丸5年。二度とあのような事件が起きないために何が必要なのか。自らも重度の障害があり、重度障害者が地域で生きていくための相談や支援、権利擁護にあたってきた海老原さんとともに考えます。

・事件への戸惑い。考えた命の“価値”

- ・自立を求めることの難しさ
- ・必要のない選択を迫られている現実
- ・事件を二度と起こさないために必要なこと

*この記事は、2021年7月25日（日）放送の

[「視覚障害ナビ・ラジオ」](#)を基に作成しました。

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/shikaku/list/detail.html?id=47292#contents>

…などと伝えています。

☆金大進学 難問越えて 全介助必要な18歳 村上さん

北陸中日新聞 Web 石川 [2021年8月11日](#)

<https://www.chunichi.co.jp/article/308946>

> 全身の筋力が低下する難病で日常生活に全面的な介助が必要な金沢市の村上紗楓（さやか）さん（18）が今春、金沢大法学類に入学。障害者差別解消法で国公立大に義務付けられた「合理的配慮」を受け、看護師の介助などで生き生きと学生生活を送っている。村上さんは「大学は本当に楽しい」と目を輝かせ、「将来は困っている人を法律でサポートする仕事をしたい」と夢を描く。

…などと伝えています。

☆「生きるとは人の役に立つことだ」

寝たきりの仲間たちが教えてくれた「人生の意味」

（佐藤 智）マネー現代 講談社 [2021.08.15](#)

<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/85377>

> 孤独を解消する」ロボットを思いついたキッカケ

外出困難な方などが「もうひとつの体」として操縦する分身ロボット OriHime を開発したオリイ研究所の吉藤オリイさん。彼は、「孤独の解消」を自身のミッションとしています。

…などと伝えています。

☆孤立するヤングケアラー 18歳未満の子どもが

家族の介護・世話する現実 求められる支援とは？

北海道ニュースUHB 特集 [2021年8月14日](#)

> 家族の介護や世話をする「ヤングケアラー」と言われる子どもたち。状況を周囲に話せず孤立する中、求められる支援とは…。

…などと伝えています。

☆同級生の会話に加われない 介護と両立する子、

ヤングケアラー当事者の思い

京都新聞 [2021年8月13日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/615256>

> 京都市が実施するヤングケアラー実態調査を今後の支援にどう生かすべきか。認知症だった祖父の介護を約10年間担い、現在はヤングケアラー同士で体験や悩みを話し合う「ふうせんの会」を運営する朝田健太さん（35）＝京都市北区＝に当事者の抱える課題と望まれる社会の在り方を聞いた。

…などと伝えています。

☆ヤングケアラーを支援

ヘルパー無料で派遣 来年度から高崎市

上毛新聞ニュース [2021/08/13](#)

<https://www.jomo-news.co.jp/news/gunma/society/317527>

> きょうだいや家族の世話をする18歳未満の子ども「ヤングケアラー」を支援するため、高崎市は2022年度から、子どもに代わって家事や介護を担うヘルパーを無料で派遣する事業「ヤングケアラー SOS 制度」を始める。本人や保護者、担任らの学校への申し立てに基づき、派遣の可否や必要な支援を個々に判断する。

…などと伝えています。

☆包丁を手に暴れる酒乱父、借金取りに追われる母…

限界家族_を生きる息子がプロレス大仁田厚に憧れるワケ

食事はインスタントカレトル

（前編）プレジデントオンライン [2021/08/14](#)

<https://president.jp/articles/-/48833>

- * 「10代から親の介護で人生が棒」定職につけず、
恋人に捨てられた30男を鬱病にした身近な真犯人
(後編) プレジデントオンライン [2021/08/14](https://president.jp/articles/-/48833)

△特集 前衛 [2021年9月号](#)

https://www.jcp.or.jp/web_book/cat458/cat/

- > * 家族介護が問う介護の今
介護の担い手の変容と「ケアラー支援」の現在地
—「介護の社会化」と家族— 津止正敏
 - * 子ども・若者ケアラー（ヤングケアラー）を支える
—当事者の経験と声を中心にすえた支援策を考える
斎藤真緒
 - * 高齢期の親たちの体験から考えるケアラー支援
児玉真美
- …などと伝えています。

☆「普通学級への進学を」 子の医療的ケア巡り両親訴え

朝日新聞デジタル 神奈川 [2021年8月10日](#)

<https://digital.asahi.com/articles/ASP89743XP89ULOB001.html>

> 人工呼吸器や胃ろうによる栄養摂取など、医療的ケアが必要な子どもの就学について考える集会在9日、横浜市内であった。相模原市立小学校の普通学級への就学を希望する医療的ケア児の佐野涼将（すずまさ）君（8）と両親が登壇した。

…などと伝えています。

☆【特集】大丈夫だよ。と伝えたい…

ダウン症児の母からのメッセージ（前編）

チバテレニュース [2021年8月06日](#)

<https://www.chiba-tv.com/plus/detail/20210853181>

> ダウン症の子どもを産み、どうして良いかわからずに悩むお母さんに、“大丈夫だよ”と手を差し伸べる12人の母親たちがつづった「1st BirthdayMessage」 医療機関や保健所、幼稚園や保育園、福祉施設への無料配布を続けています。

…などと伝えています。

☆【特集】ダウン症児の母からわが子へ…

12人の「おめでとう」のカタチ（後編）

チバテレニュース [2021年8月10日](#)

<https://www.chiba-tv.com/plus/detail/20210853326>

> 新たにダウン症の子どもを産み、1人で悩むお母さんたちに手を差し伸べる1冊の本・「1st BirthdayMessage」制作委員会の代表を務める石山さんに、自身の経験やお子さんしたこと、本のこれからのことなどを伺いました。

…などと伝えています。

☆ヤングケアラー 小説「with you」の作者が込めた思いとは

NHK首都圏ナビ Webレポート [2021年8月10日](#)

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20210810yc.html>

> 「わたしはいなくなると、なれないんだ。わたしがいなくなったら、うちが、こわれちゃうから」 小説「with you」の中で、中学生の少女が漏らしたせりふです。小説は、ヤングケアラーをテーマに書かれています。なぜテーマに取り上げたのか、作者に作品に込めた思いを聞きました。

…などと伝えています。

☆誰もが生きやすい社会へ

全障研大会閉幕 障害者の権利保障を

しんぶん赤旗 2021年8月9日

> 全国障害者問題研究会（全障研・越野和之委員長）の第55回全国大会（静岡2021）8日、オンラインで15分科会と4つの学習講座を開催しました。「障害ある人びとの人格発達の権利を徹底的に保障するとりくみのうちに、だれもが生きるに値する平和な社会の発達を展望しましょう」とするアピールを採択し、7日から始まった同大会は閉幕しました。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210809akahata.jpg>

△[全障研：特設：全国大会2021](#)

<http://www.nginet.or.jp/schedule3.html>

* [大会アピール](#) * [全国大会基調報告](#)

…などが掲載されています。

☆発達を保障する社会へ

オンライン全障研全国大会始まる

しんぶん赤旗 2021年8月8日

> 全国障害者問題研究会（全障研）の第55回全国大会（静岡2021）が7日、始まりました。オンラインで配信し、全国から800人超つながりました。8日まで。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210807akahata.jpg>

☆[ヤングケアラー 今がんばっている君へ](#)（連載中）

<https://mainichi.jp/>

<https://mainichi.jp/articles/20210808/k00/00m/040/272000c>

小学4年から「小さな保護者」

22歳女性の経験から見たケアの実態

毎日新聞 [2021/8/9](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210808/k00/00m/040/272000c>

> 政府が4月に公表したヤングケアラーに関する初の実態調査で、小学生は調査対象から外れた。しかし、一部の研究者の調査で小学生ケアラーの存在は把握されている。小学生時代から家族の世話や介護に追われた子たちは、どんな思いで生きてきたのだろうか——。記者（私）は、子どもを支援する団体などあちこちに取材していた先で、一人の女性に出会った。病気の母に代わり、幼いきょうだいの世話や家事を担い始めたのは小学4年生の時だという。彼女は今、大学4年生。取材を通じて見えたのは、家族への責任感を背負い込んだ「小さな保護者」の姿だった。

…などと伝えています。

☆難病患者のワクチン接種「なぜこんなに苦労する」

医療機関探し、非常に困難

京都新聞 [2021年7月30日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/608250>

> 新型コロナウイルスワクチンの接種を希望する難病患者が、ひときわ苦労を強いられることがある。かかりつけ医のいる病院が接種を行っていない場合、安心して接種を受けられる環境を整えるのに手間や時間がかかるからだ。京都の難病患者団体は病気を理由に医療機関から接種を敬遠される事例もあるとして、京都府と京都市に改善を求める要望書を提出している。

…などと伝えています。

☆障害児と親の自立を本に「不安抱えながらも前向きに」

医療的ケア児を育てる中野区の福満さん

東京新聞 東京 [2021年8月7日](#)

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/122549>

> 寝たきりで人工呼吸器が必要な医療的ケア児を育てながら、自ら重い障害の子が通う施設を運営する福満美穂さん（49）＝中野区＝が、親子の自立に向けた日々を本にまとめた。障害児を持つ親の生き方がテーマで、福満さんは「コロナ禍で皆が不安を抱えている今、そこから逃げず、不安を抱えながらも前向きに生きていこうという気持ちを込めた」と話している。本は「[不安ウーマン 医療的ケア児のシングルマザー 明日を生きていくために](#)」（ぶどう

社)。出産後に分かった長女華子(かこ)さん(17)の障害、結婚生活と離婚、NPO法人の立ち上げや、ひとり親の生きづらさ、経済的な困窮もつづいた。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210807tokyonews.pdf>

* 「不安ウーマン 医療的ケア児のシングルマザー 明日を生きていくために」(ぶどう社)

https://honto.jp/netstore/pd-book_31055117.html

☆「人生変わった」分身ロボットで接客

難病女性が見つけた生きがい

毎日新聞 島根 [2021/8/7](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210807/k00/00m/040/161000c>

> 「お客様が手を振ってくださって、OriHime(オリヒメ)で手を振り返す時、生身の自分の手も振っていることがよくある。オリヒメと自分が一体化している気分になる」。仕事の様子をSNSでそうつぶやいたのは松江市の三好史子さん(26)。分身ロボットのオリヒメを遠隔操作する「パイロット」の一人だ。松江にいながらにして東京・日本橋の「分身ロボットカフェ」でオリヒメを通じて接客する。カフェ以外にも働く場を広げつつある。難病のため車椅子で生活する三好さんが求めている「生きがい」がここにある。

…などと伝えています。

☆戦争と差別の時代を生きて

次世代に伝えたい平和と人権への思い

NHKハートネット 記事 [2021年08月06日](#)

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/532/>

> 歳の時、不発弾の爆発により両目と両手を失ったのち教師になった藤野高明さん(82)。その人生を紹介する5分間の動画をインターネットで公開したところ、10代から30代の若い世代から大きな反響がありました。「すごい」「勇気をもらった」「人間の可能性を信じたい」などの感想が、SNSに発信されています。藤野さんが未来を担う人たちに、とりわけ伝えたいという戦争についてうかがいました。※差別に関する表現は、藤野さんの実体験を伝えるため、ご本人の証言を使用しています。

…などと伝えています。